

会 議 録

会議の名称	第25期東村山市青少年委員の定例会（第23回）				
開催日時	平成27年2月12日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者：</p> <p>（委員） 藤澤功明会長・森田明美副会長・木村一樹委員・小島恵子委員・佐々木悟子委員・鈴木史秋委員・多田啓子委員・宮崎貴幸委員・横田昇委員・横山大吾委員・渡邊いつ子委員</p> <p>（市事務局） 社会教育課：平島課長・朝岡係長・石井</p> <p>●欠席者：</p> <p>（委員） 児玉光昭委員・谷橋由樹委員・山本智治委員</p> <p>（市事務局） なし</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可 の場合は その理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 青少年委員会長 挨拶 2 社会教育課長 挨拶 3 協議事項 4 活動報告 5 事務連絡 6 事務局より 				
問い合わせ先	教育委員会教育部社会教育課社会教育係 担当者名 朝岡・石井 電話番号 042-393-5111（内線3514） ファックス番号 042-397-5431				
会 議 経 過					
<ol style="list-style-type: none"> 1 青少年委員会長 挨拶 2 社会教育課長 挨拶 3 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度「輝け！東村山っ子育成塾」事業計画（案）等 ●事務局 <ul style="list-style-type: none"> ・前回、定例会の実施日の設定について委任をいただいた。資料のとおり、年間を通じて概ね定例会から育成塾の実施日が一週間は空くかたちで設定させていただいたが如何か。 （異議なく了承された） ・また、バス研修についてはJALの工場見学を実施するとのことであったが、見学手続きの事情により、事務局から見学手続を行うことは事実上、不可能となっている。この点について協議いただきたい。 ●・事務局からは以上のような説明があった。各委員から意見をもらいたい。 ●・事務局が不可能といっている以上、行先の変更が望ましいのではないか。 ●・そもそもバス研修では他の案も出ていたこともあり、それも含め再検討を行うこととすればよいのではないか。 					

- ・他に意見がないようであれば、実施内容を変更することとしたいが、どうか。
(協議の結果承認された)
- ・各活動の担当を決める前にそれぞれの活動について具体的に何をするのか、考えて後、各担当を決めていきたい。
- ・1活動について委員3名が担当することが望ましい。
- ・白州キャンプでは山の家を出て尾白川溪谷方面へ“ハイク”を行ってみてはどうか。
- ・同じくキャンプでは“食育”を平行して実施したい。
- ・キャンプでの“ハイク”は何か目的をもって行うことはできないか。
- ・キャンプでの食事献立が画一的であるため、“新献立”で実施できないか。
- ・キャンプと“食育”とをバランス良く実施していきたい。
- ・世代間交流として“百人一首”を行ってはどうか。
- ・昨年と同じになってしまうが、世代間交流で“ニュースポーツ”を行ってはどうか。
- ・世代間交流には是非、“むかし遊び”を入れてほしい。
- ・前回の検討では福祉体験について“手話”を行っていく方向となったが、時間的に1日で実施できるのか。本格的に実施するとなれば、1回では足りないのではないか。例えば“手話”を使ったゲーム等、初心者に合ったものを実施するなどの工夫を講じる必要があるのではないか。
- ・福祉体験では参加者に“気づかせる体験”が重要と考える。用具の説明等、足がかりとなるきっかけをつかむことができれば良いのではないか。
- ・“手話を習う”に重点をおかず、“交流”を中心として実施してはどうか。
- ・福祉体験については以上をふまえ、事務局からのボランティアセンターに対する折衝の後、細部を調整してはどうか。
(異議なく了承された)
- ・ここで、各活動の担当希望を募り、各活動ごとの担当を決定した。
- ・これで各担当が決定した。各担当間で、随時連絡を取り合い、有意義な活動を検討してもらいたい。

4 活動報告

5 事務連絡

6 事務局より

以 上